



平成29年3月期第2四半期決算説明会資料  
 2016年11月14日 大阪  
 2016年11月17日 東京

**G-7 HOLDINGS INC.**

<http://www.g-7holdings.co.jp>



1. 平成29年3月期第2四半期の業績について	P. 3-6
2. セグメント別の事業動向	P. 7-19
3. 平成29年3月期通期業績予想	P. 20-24
4. 中期経営計画について	P. 25-28
5. 海外展開戦略について	P. 29-32
スポンサー活動	P. 33-34
お問い合わせ先	P. 35
ご参考	P. 36-42

## ■ 平成29年3月期第2四半期の業績について

既存店舗の収益力強化に取り組み、前年同期比で過去最高の増収増益を確保

(単位：百万円)

	H28年3月期 2Q	H29年3月期 2Q	前年同期比 増減率	H29年3月期 通期予想	進捗率
売上高	49,066	52,964	7.9%	115,000	46.1%
営業利益	1,243	1,441	15.9%	3,700	38.9%
経常利益	1,211	1,591	31.3%	4,000	39.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	841	856	1.8%	2,100	40.8%

# 要約貸借対照表

現金及び預金の減少で総資産は減少

単位：百万円

	H28年3月期	H29年3月期 2Q	増減額	増減率
流動資産	17,111	15,773	-1,338	-7.8%
(現金及び預金)	8,242	6,570	-1,672	-20.3%
有形固定資産	13,870	14,183	+313	+2.3%
無形固定資産	253	232	-21	-8.3%
投資等	4,919	4,911	-8	-0.2%
資産合計	36,154	35,100	-1,054	-2.9%
流動負債	13,659	13,726	+67	+0.5%
固定負債	8,311	6,704	-1,607	-19.3%
負債合計	21,971	20,431	-1,540	-7.0%
純資産	14,183	14,668	+485	+3.4%
負債・純資産合計	36,154	35,100	-1,054	-2.9%

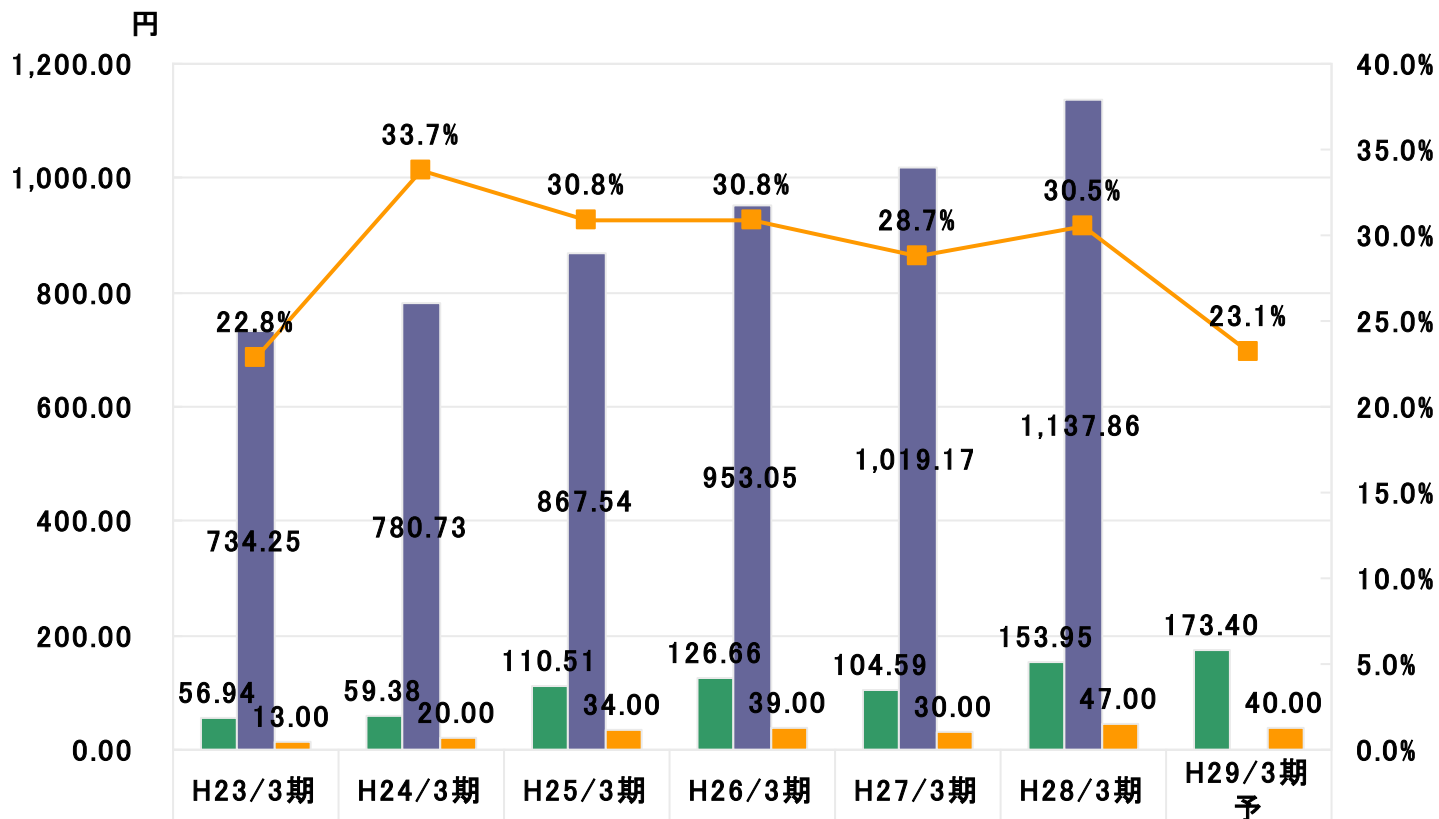
## ■資産の部

- ・総資産の減少
- ・流動資産の減少
- ・有形固定資産の増加

## ■負債の部

- ・負債の減少
- ・流動負債の増加
- ・固定負債の減少

29年3月期は、中間配当を20.00円を実施。期末配当予想を20.00円で、合計40.00円を見込む



注) H24/3月期は特別配当6.0円、H25/3月期は特別配当18.0円、H26/3月期は特別配当15.0円、H28/3月期は特別配当13.0円を含む

## ■ セグメント別の事業動向

オートバックス  
・  
車関連事業



業務スーパー  
・  
こだわり食品事業

その他事業

G-7グループは「**オートバックス**」と「**業務スーパー**」  
を核に、全国に躍進する**メガフランチャイジー**です



## セグメント別の2Q業績

株式会社 G-7 ホールディングス

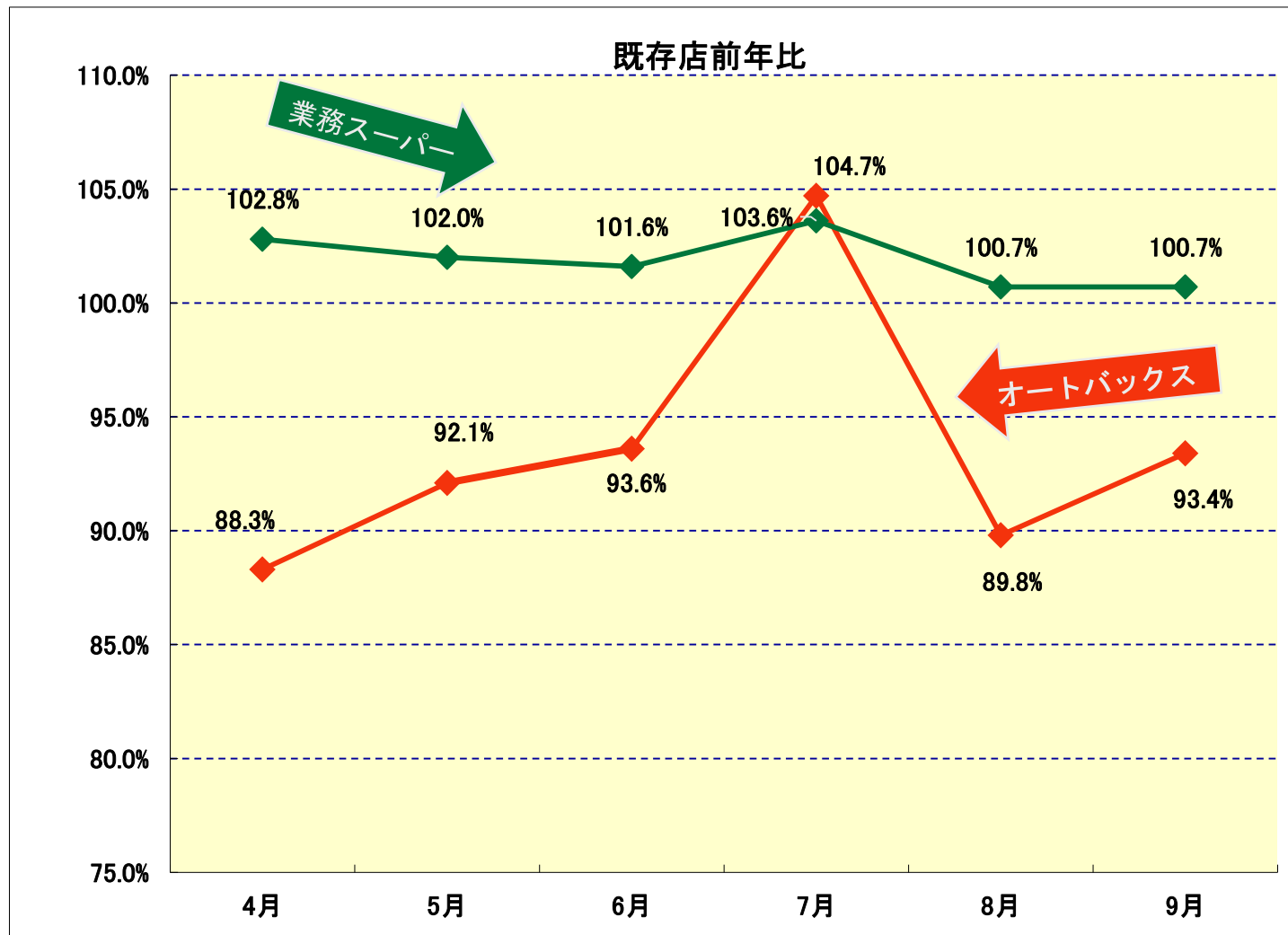
業務スーパー・こだわり食品事業は好調に推移

単位：百万円

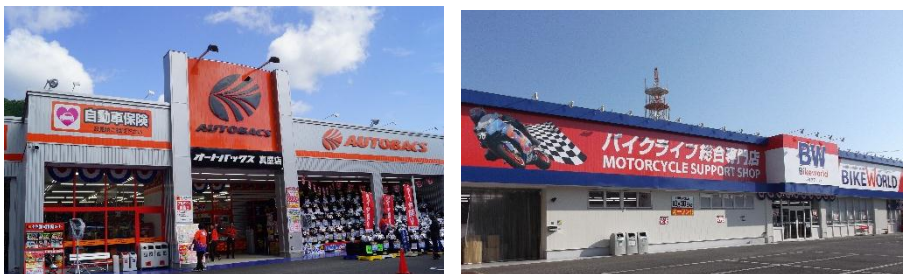
	売上高	増減	前年同期比 増減率	営業 利益・損失	増減	前年同期比 増減率
オートバックス 車関連事業	15,536	▲338	▲2.1%	148	▲45	▲23.3%
業務スーパー こだわり食品事業	34,470	+3,858	12.6%	1,223	+186	17.9%
その他	2,956	+377	14.6%	▲17	▲19	-

### ■セグメント別 売上高構成比





「オートバックス」のフランチャイズ事業が主力 ～ G-7グループの主力事業

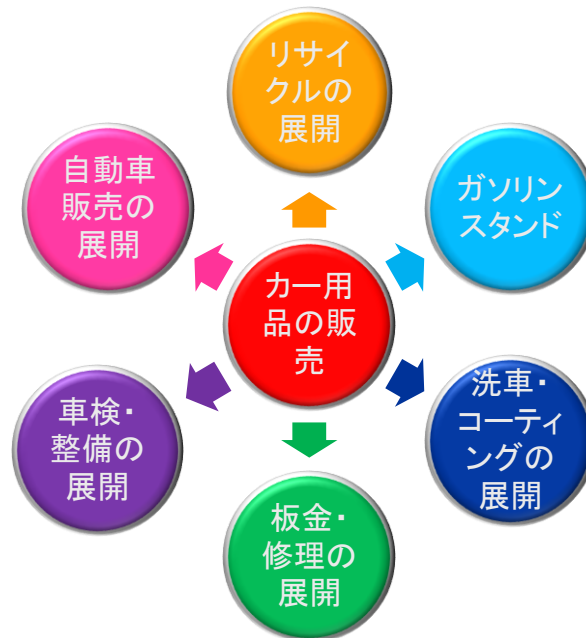


## 【運営子会社】

G-7・オート・サービス→オートバックスやBPセンター（板金・塗装）等の運営

G-7バイクワールド→バイクライフの総合専門店・バイクワールドの運営

G7リテールマレーシア→マレーシアでオートバックスとバイクワールドの運営



・ 売上高構成比ではG-7・オート・サービスが全体の約9割



▲オートバックスエクスプレス



▲板金集中センター



▲クリスタルセブン（洗車・コーティング）



▲カーズ車販売

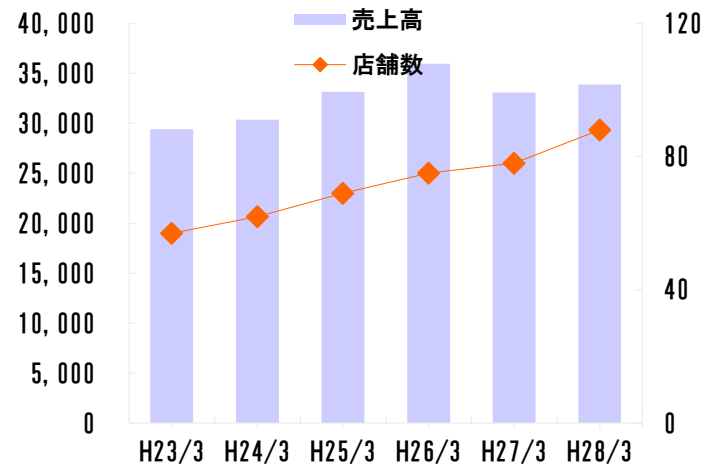
消費税増税後の買い控えから一転、好調な推移

(単位：百万円、店舗数)

	2 Q実績	前年同期	増減率
売上高	15,536	15,874	▲2.1%
営業利益	148	224	▲23.3%
店舗数	90	85	+5

※店舗数、オートボックス・車関連・バイクワールド含む

■店舗数と売上高の推移

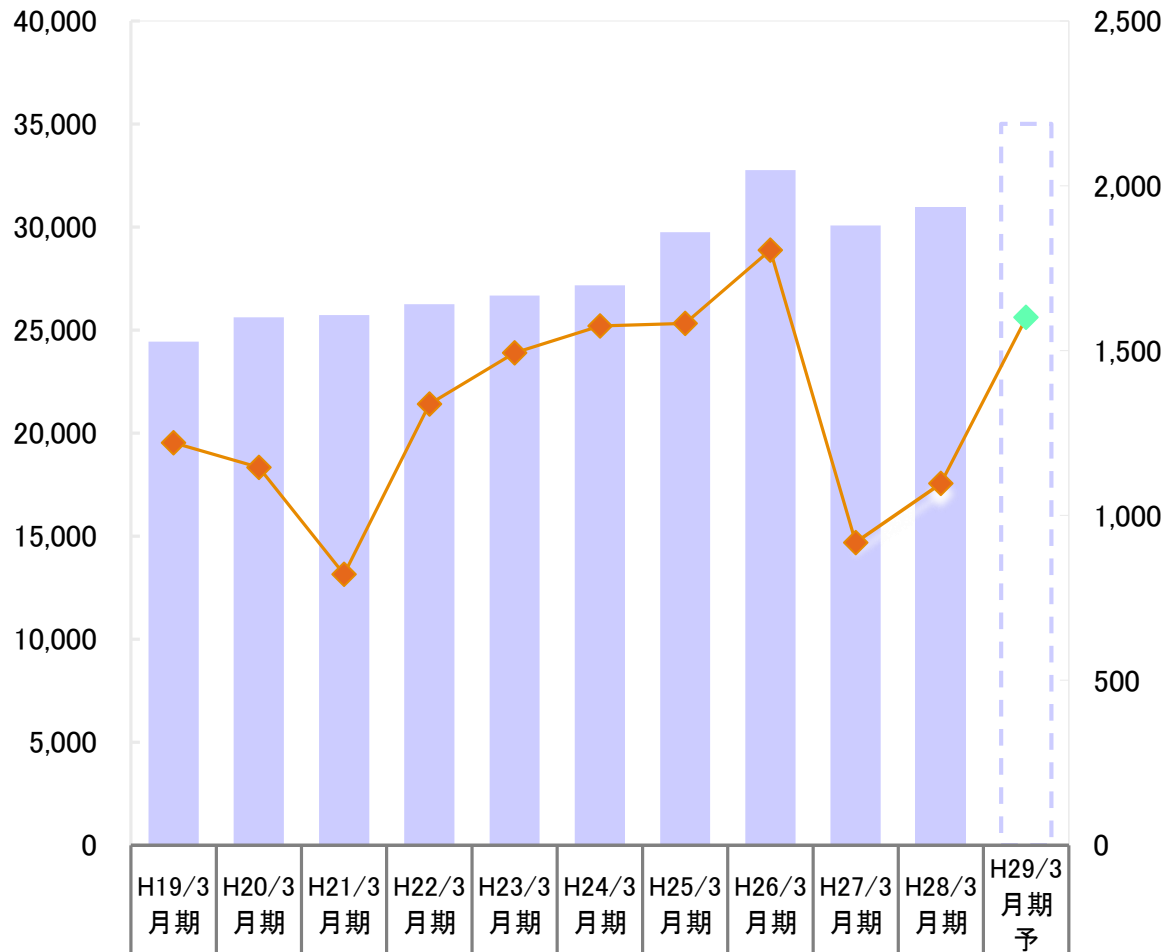


## 概況

- ・昨年の暖冬の影響で、スタッドレスからノーマルタイヤへの履き替え需要が低迷。
- ・オートボックス主要カテゴリー別売上高状況(前期比)  
 タイヤ:92.1% カーエレクトロニクス:92.3% サービス(車検、板金、塗装など):96.8%
- ・マレーシアの「オートボックス」(2店舗)「バイクワールド」(2店舗)は全店増収増益と好調に推移。
- ・マレーシアでは広告宣伝(主にFacebook)を拡大、多くの商品をインポート品に(日本製)入れ替え、充実させたことが好調の要因。
- ・バイクワールド伊川谷店オープン(兵庫県神戸市)。
- ・昨年屋号をバイクセブン→バイクワールドに変更したことで客足が遠のき、売上が落ち込んだ。

## G-7・オート・サービスの売上高と営業利益の推移

(単位：百万円)



オートボックス事業売上	24,430	25,617	25,725	26,246	26,673	27,171	29,744	32,752	30,074	30,978	35,000
オートボックス事業営業利益	1,220	1,146	822	1,338	1,493	1,575	1,582	1,805	918	1,097	1,600

「業務スーパー」のフランチャイズ事業が主力 ～ G-7グループの主力事業



「業務スーパー」

## 【運営子会社】

- ・ G-7スーパーマート→業務スーパー等の運営
- ・ G7ジャパンフードサービス→こだわり食品の卸売り、プライベートブランド（PB）商品の開発・販売等
- ・ G-7ミートテラバヤシ→精肉の加工・販売事業



「テラバヤシ」



こだわり食品



PB商品

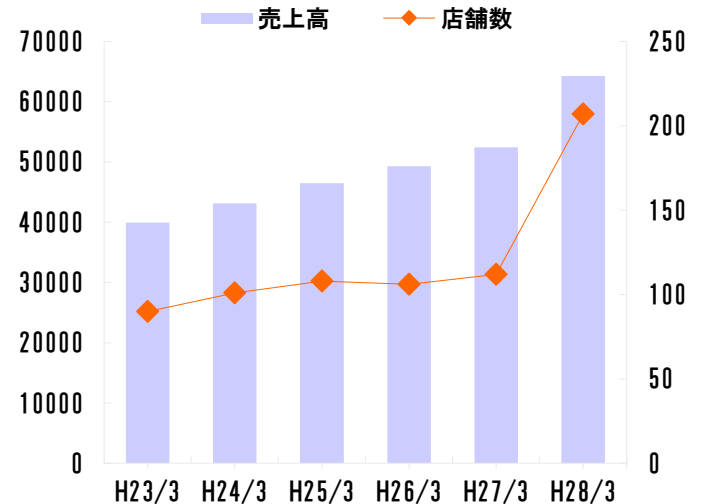
業務スーパーは出店拡大、こだわり食品も好調に推移

(単位：百万円、店舗数)

	2Q実績	前年同期	増減率
売上高	34,470	30,612	22.5%
営業利益	1,223	1,037	45.6%
店舗数	216	*115	+101

\*前年同期にはテラバヤシは含まれておりません

■店舗数と売上高の推移

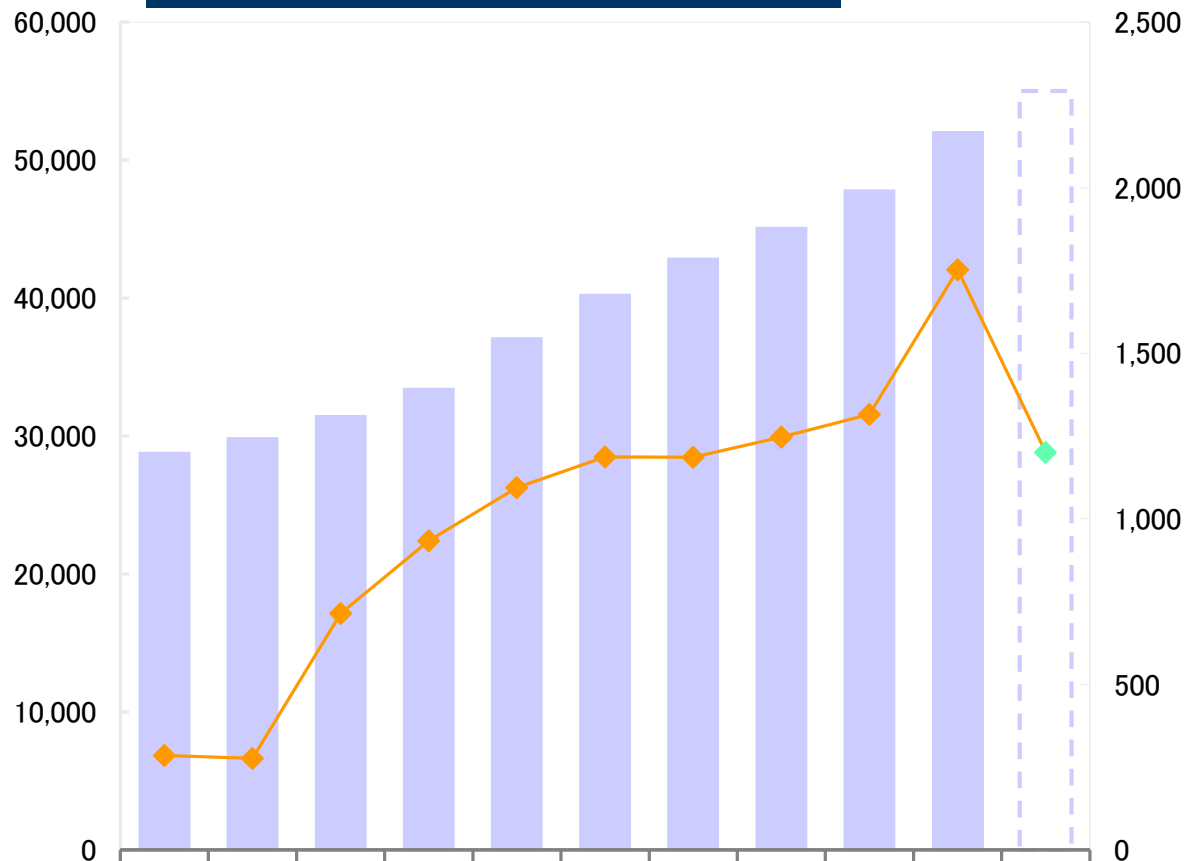


## 概況

- ・業務スーパーの売上高は前年同期比7.4%増、営業利益は同6.2%増、テラバヤシの売上高は同68.5%増、営業利益29.1%増と好調に推移
- ・業務スーパーの出店と同時に、精肉店のテラバヤシを出店していくことで事業拡大を進める
- ・店舗の老朽化が目立ち始め、今期はリニューアル・メンテナンスを計画・実施(10/末現在40店舗完了)
- ・こだわり食品事業は新規顧客の開拓、取扱商品の拡充が順調に進み、収益が拡大



(単位：百万円) G-7スーパーマーケットの売上高と営業利益の推移



G-7スーパーマーケット売上	28,849	29,927	31,529	33,500	37,168	40,306	42,928	45,170	47,885	52,069	55,000
G-7スーパーマーケット営業利益	285	277	714	934	1,094	1,187	1,186	1,247	1,315	1,752	1,200



「めぐみの郷」、「良品買館」、「カーブス」、レストラン事業、コインランドリー事業、不動産事業などを展開  
【運営子会社】



G-7モールなど  
不動産の賃貸事業



農産物直売所  
「めぐみの郷」

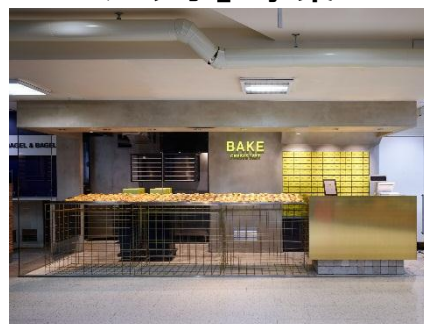


コインランドリー  
「マンマチャオ」



リサイクルショップ  
「良品買館」

- ・ G-7リテールジャパン→「G-7モール」など不動産賃貸事業、「良品買館」などリユース事業・健康体操教室「カーブス」、ゴルフスクール「ステップゴルフ」などリテール事業
- ・ G-7アグリジャパン→農産物直売所「めぐみの郷」の運営等アグリ事業
- ・ G7ジャパンフードサービス→お好み焼き「七つの壺」等レストラン事業、「BAKE」のスイーツ事業
- ・ G-7・オート・サービス→コインランドリ「マンマチャオ」事業



チーズタルト  
「BAKE」



健康体操教室  
「カーブス」

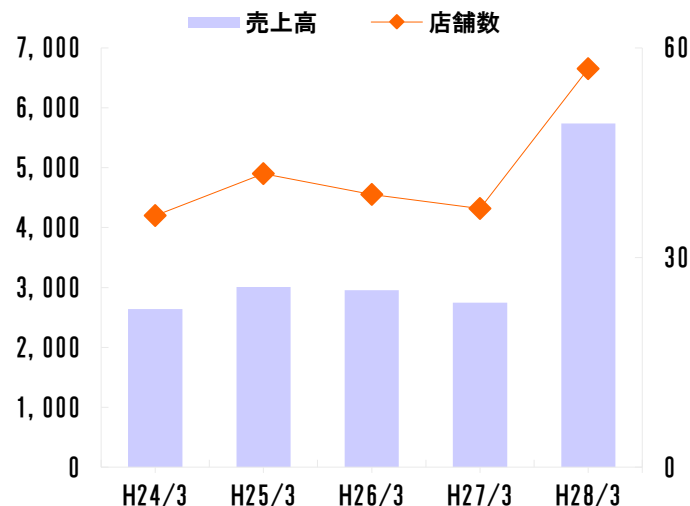
めぐみの郷は売上高が堅調に推移、利益面では赤字

(単位：百万円、店舗数)

	通期実績	前年同期	増減率
売上高	2,956	2,579	14.6%
営業利益	▲17	2	
店舗数	60	29	+31

\*前年同期にはカーブスとステップゴルフは含まれておりません

■店舗数と売上高の推移



## 概況

- ・チーズタルト「BAKE(ベイク)」が好調、今期2店舗出店、10店舗程度まで展開していく予定。
- ・めぐみの郷は販売方法を委託販売から買取販売に変更し、売上高は伸長したが減益。
- ・めぐみの郷の新規出店は兵庫県と千葉県に各1店舗、9月末の店舗数は23店舗(前年同期比4店舗増)。
- ・コインランドリー事業に参入、オートボックス亀岡店敷地内に第1号店「マンマチャオ亀岡店」をオープン。オートボックスとのシナジー効果が期待できる。

大型物件にG-7モールとしてグループの店舗やテナントを入れて、より集客の増す、モール事業に力を入れています。2016年3月現在、グループ店舗が複数集合する拠点は18拠点あり、その名称を「G-7モール」に統一しています。

G-7モール姫路東	スーパーオートバックス、オートバックスエクスプレス、クリスタルセブンの複合モール（駐車台数256台）
G-7モール花田	業務スーパー、Green's K 鉄板ピュッフェ、丸亀製麺、ホームセンター「モリス」の複合モール（駐車台数77台）
G-7オートモール土山	オートバックス、BPセンター、クリスタルセブン、バイクワールド、ガソリンスタンドの複合モール（駐車台数505台）
G-7モールべふ	オートバックス、Green 's 魚民、カットハウスの複合モール（駐車台数74台）
G-7モール高砂	オートバックス、ドラッグストア、快活クラブの複合モール（駐車台数202台）
G-7モール学園南	オートバックス、めぐみの郷、お好み焼き「七つの壺」、得得うどんの複合モール（駐車台数230台）
G-7モール舞多間	和食「和平」、焼肉「ワンカルビPlus」、マクドナルド、びっくりドンキー、めしや食堂、お好み焼き「わらい」の複合モール（駐車台数178台）
G-7モール塩屋北	オートバックス、オートバックスエクスプレス、クリスタルセブン、業務スーパー、めぐみの郷、丸亀製麺の複合モール（駐車台数175台）
G-7モール須磨北	スギ薬局、お好み焼き「偶」、ビデオレンタル「ゲオ」、古着買取、酒のサンリカーの複合モール（駐車台数102台）
G-7モール北六甲	オートバックス、カラオケ、焼肉「牛太」、アルカドラッグ、ローソンの複合モール（駐車台数121台）
G-7モール篠山	オートバックス、めぐみの郷の複合モール（駐車台数115台）
G-7モールひよどり台	業務スーパー、酒のサンリカー、めぐみの郷、野菜工場、ガスト、お好み焼き「七つの壺」の複合モール（駐車台数220台）
G-7モール西脇	オートバックス、クリスタルセブン、かっぱ寿司、100円ショップ「セリア」の複合モール（駐車台数300台）
G-7モール千葉ニュータウン	オートバックス、業務スーパー、Green's K 鉄板ピュッフェ、リサイクルショップ「良品買館」の複合モール（駐車台数251台）
G-7モール名古屋みなと	バイクワールド、バイク王、業務スーパー、100円ショップ「ダイソー」（駐車台数201台）
G-7モール岡山久米	リサイクルショップ「メガリサイクル王国」、100円ショップ「ダイソー」の複合モール（駐車台数170台）
G-7モール木更津	オートバックス、バイクワールド、オートバックスエクスプレス、クリスタルセブン、カーズの複合モール（駐車台数380台）
G-7オートモール野田梅郷	オートバックス、オートバックスエクスプレス、クリスタルセブン、BPセンター、テクノキューブ、タイヤ専門館のオートモール（駐車台数100台）

## ■ 平成29年3月期通期業績予想

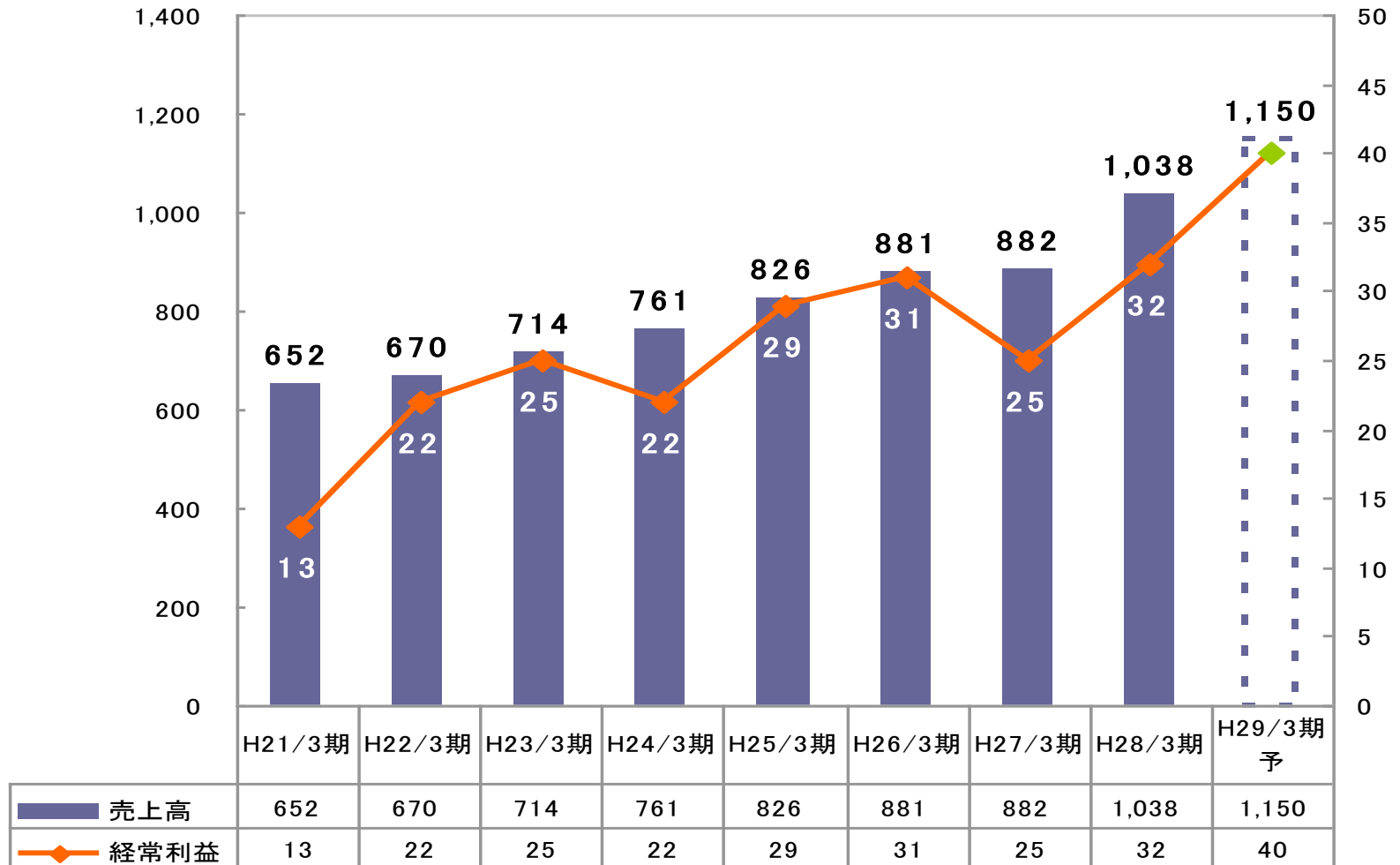
モールフェスティバルなど、グループ一丸となって販売強化策を実施し、売上の底上げを図る

(単位：百万円)

	H27年3月期	H28年3月期	H29年3月期予想	H28年3月期比 増減
売上高	88,261	103,895	115,000	10.7%
営業利益	2,306	3,028	3,700	22.2%
経常利益	2,512	3,220	4,000	24.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,272	1,867	2,100	12.5%
EPS (円)	104.59	153.95	173.40	+19.45
配当 (円)	30.00	47.00	40.00	▲7.00
プラス要因		マイナス要因		
1. 業務スーパー事業の拡大 新規出店予定数10店舗（前期実績10店舗） 2. 食品事業が好調に推移 3. G-7モールでのシナジー効果 4. 新業態への参入（コインランドリー）		1. 車関連事業の低迷 2. 居抜き物件争奪激化による出店速度の減速 3. 海外事業の新規出店など先行投資の負担増		

【業績の推移】

(単位：億円)



# 国内店舗の出退店の実績と計画

	2015年3月期末	2016年3月期末	2017年3月期 期初計画	2017年3月期 1Q-2Q進捗	2016年3月期 2Q末
オートバックス	68	72	13	0	72
バイクワールド	11	12	2	1(退店1)	12
業務スーパー	113	119	10	4	123
めぐみの郷	17	21	14	2	23
テラバヤシ	-	89	9	4	93
鉄板ビュッフェ	4	4	0	-1	3
然の膳	1	1	0	-1	0
食べ放題レストラン めぐみのさと	-	-	-	1	1
BAKE	-	1	3	2	3
マンマチャオ	-	-	-	1	1
メガリサイクル王国	1	1	0	0	1
良品買館	4	2	1	0	2
カーブス	-	17	1	0	17
ステップゴルフ	-	2	0	0	2
七つの壺	2	2	0	0	2
ダイソー	2	2	0	0	2
Green's K	3	3	0	0	3
合計	226	348	53	12	360

### 平成29年3月期 上半期の新規オープン

- 【4月 1日】 業務スーパー BIG BOX店
- 【4月14日】 テラバヤシ 新高砂店
- 【4月14日】 めぐみの郷 新高砂店
- 【4月14日】 業務スーパー新高砂店
- 【4月21日】 G-7ミートテラバヤシ 日高原宿店
- 【4月21日】 業務スーパー 日高原宿店
- 【4月21日】 バイクワールド 伊川谷店
- 【5月19日】 G-7ミートテラバヤシ 天王台店
- 【5月19日】 めぐみの郷 天王台店
- 【5月19日】 業務スーパー天王台店
- 【6月 1日】 BAKE京都寺町店
- 【6月23日】 G-7ミートテラバヤシ 川越広栄店
- 【6月23日】 業務スーパー 川越広栄店
- 【8月 7日】 マンマチャオ 亀岡店
- 【9月18日】 チーズタルトBAKE あべのハルカス店
  
- 【10月13日】 業務スーパー 上池袋店
- 【11月10日】 業務スーパー 行田店



## ■ 中期経営計画について



# E ENVIRONMENT 環境

省エネ、Co2削減、産業廃棄物の処理、環境汚染の廃絶等、地球温暖化への対応、又、気候変動、地殻変動、エネルギー問題への対応等、我々を取り巻く環境の変化にどのような対処をするか？

# S SOCIAL 社会

地域社会への貢献を主として、我々グループが出店することで、利便性を高めていくことと、正しい納税の義務となる。女性社員の育成・登用を進め、労働環境を整備することが重要である。

# G GOVERNANCE 統治

会社法の改正により、コーポレートガバナンスコード・73のストーリーの遵守と実行、スチュワードシップコード、株主総会、IR活動を通じて、情報のすみやかな開示を行う。

中期目標を達成していくために7つの具体的な事業戦略・事業展開を計画・実行

### 1. 組織力と人間力の強化

グループ内の意思統一を図るため、企業間の人・物・金のコラボを強化し、成長させます。命令系統の統一を図り、一人一人の評価基準を明確にして、人間力を高めます

### 2. 新規事業、新業態開発の成長戦略室の新設

チーズタルトBAKEの更なる展開、シンガポールで新規事業の展開など、国内外で新規・新業態を展開してまいります

### 3. NCC（ネクスト・キャビネット・クラブ/次期役員・経営者講座）を設立

世代交代を見据えて設立した役員・経営者養成講座にて、創業者・現役員また外部講師を招いて、経営の知識を身につけてもらい、グループの将来を担える人材を養成します。

### 4. M&Aの推進

国内・海外での取り組みを強化し、キャッシュフロー内で国内外の投資をします

### 5. G-7アグリジャパンは農業ビジネスへの挑戦

第3の柱になるべく、めぐみの郷パートナーショップの募集し、全国展開します

### 6. アジア・アセアンにおける海外事業の強化

G7インターナショナルは、「ジャパンビレッジ」の名称で海外でのモール展開に取り組みます。

### 7. G-7・オート・サービスは車買取販売とオートバックスエクスプレスで売上高の50%に挑戦

車買取販売のカーズ事業とセルフガソリンスタンドのエクスプレス事業に注力し、車検ビジネスもさらに加速させます。

## ■ 海外展開戦略について



↓ バイクワールド  
バンコク・ナワミン店



↑ オートボックス  
テブラウシティ店

串かつだるま  
中山長安店→



● マレーシアでのオートボックス事業

・1Q～2Q売上実績

クランセントラル店(2012年オープン):前年比38.3%増

テブラウシティ店(2013年オープン):前年比39.0%増

● マレーシアでのバイクワールド事業

・1Q～2Q売上実績

クランセントラル店(2014年オープン):前年比319.3%増

テブラウシティ店(2013年オープン):前年比54.4%増

マレーシアでは、**4輪・2輪の両方に対応可能とし、シナジー効果を狙う**

● タイでのバイクワールド事業

・2016年3月「バイクワールドバンコク・ナワミン店」オープン

● 東南アジアでのレストラン事業

・2014年2月 「ら～めん神戸エンパイアダマンサラ店」オープン(マレーシア)

・2015年6月 「ら～めん神戸イオンモールBSDシティ店」オープン(インドネシア)

・2015年12月 「串かつだるま中山長安店」オープン(台湾)



## ●ベトナムでの菊生産

- ・ベトナムでの菊栽培は順調。  
3ヵ月毎に3万本を「めぐみの郷」に出荷



↑ 菊栽培の様子



↑ いちごの収穫風景

## ●ミャンマーでの野菜生産

- ・2013年11月、日本から2000株のイチゴ苗を輸出、  
現在2万2,000株。
- ・2015年2月から出荷を開始。ミャンマー国内のシティマート  
および他スーパーで販売。
- ・2015年よりレタス栽培・販売を開始。  
雨季・乾季ともに対応できるよう、ハウスおよび露地で栽培。
- ・シティマート系列のスーパーで販売開始。
- ・現在、ニンジン、パプリカの試作を開始。



↑ レタスのハウス栽培

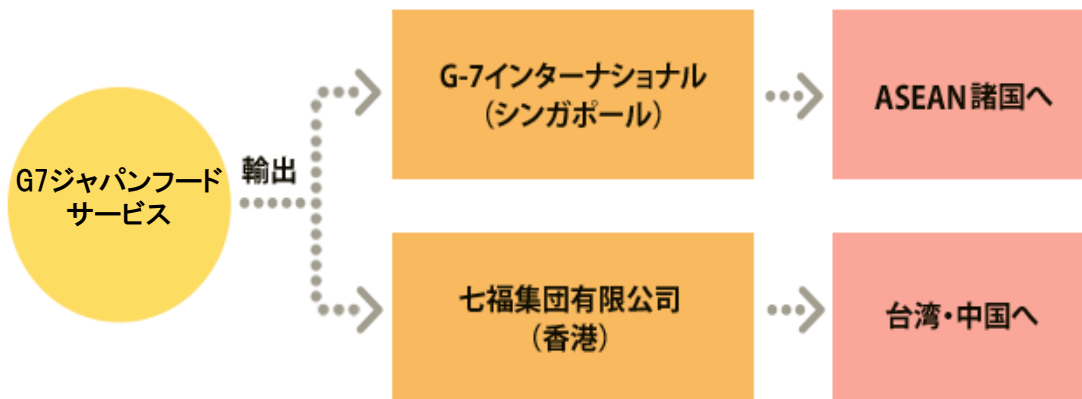


↑ レタスの露地栽培

## 日本の美味しく安全な食材を東南アジア市場へ

### (株)G7 ジャパンフードサービス

1. G-7グループの加工食品卸、輸出
2. 畜産物：牛肉（冷蔵・冷凍）豚肉（冷凍）
3. 全国のめずらしい美味しい食品の卸、輸出



焼肉のタレ



釜めし



和牛



新潟こしひかり



## ■ スポンサーード活動



J1リーグ ヴィッセル神戸





## お問い合わせ

株式会社 G-7 ホールディングス  
IR担当 井手

TEL : 078-797-7701

E-mail kaoru.ide@g-7holdings.co.jp

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

## ■ ご参考

会 社 名	株式会社G-7ホールディングス (G-7HOLDINGS INC.)
設 立	1976年 (昭和51年) 6月18日
資 本 金	17億8570万円
株 式	東証1部上場 (証券コード : 7508)
代 表 者	代表取締役社長 金田 達三
本 社	神戸市須磨区弥栄台3丁目1-6 TEL : 078-797-7700 FAX : 078-797-7710
事 業 内 容	オートバックス、業務スーパーなどの事業を行うグループ会社の 経営戦略・管理・運営等をおこなう持株会社

- 昭和50年10月 現代表取締役会長、木下守が加古川市にカー用品専門店オートセブン加古川店を開店
- 昭和51年 7月 オートボックス大久保店を開店、以降、フランチャイジーとして積極的に出店
- 平成 8年 8月 大阪証券取引所市場第二部に株式を上場
- 平成13年 5月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場
- 平成14年 4月 子会社株式会社サンセブンを設立、業務用食材小売販売を行う「業務スーパー」をフランチャイジーとして積極的に展開
- 平成17年 9月 東京証券取引所・大阪証券取引所市場第一部に指定
- 平成18年 4月 G-7グループ各事業会社を支配・管理する持株会社の「株式会社G-7ホールディングス」に組織・商号変更
- 平成18年10月 株式会社オートセブンがM&Aによりオートボックス2店舗を運営する福神産業を買収
- 平成18年11月 M&Aにより自動車板金塗装業等を営む㈱タカツキを買収
- 平成20年 6月 M&Aにより食品販売・FC事業を展開する㈱シーアンドシーを買収
- 平成21年12月 M&Aにより農産物直売所「めぐみの郷」を店舗展開する㈱めぐみのさとを買収。アグリ事業に参入
- 平成23年 3月 シンガポールに東南アジアの子会社を統括するG7インターナショナルを設立。海外事業展開開始
- 平成24年 4月 マレーシアにオートボックス1号店を開店
- 平成24年10月 M&Aにより高級冷凍食品の製造・卸を行う㈱コールドファミリーを買収
- 平成24年12月 グループ会社の社名変更を実施
- 平成26年 1月 G-7食品システムが上野食品を吸収合併
- 平成26年 2月 マレーシアに海外初の「ら～めん神戸（かんべ）」1号店をオープン
- 平成27年 4月 株式会社G7ジャパンフードサービスがグループ会社であるG-7食品システムを吸収合併
- 平成27年 6月 株式会社テラバヤシの株式取得し子会社化
- 平成28年 6月 関東地区、中部地区の営業強化のため、横浜営業所および名古屋営業所を開設

### 7 (セブン)

社名の「7 (セブン)」は、創業地への敬意や幸運の象徴です。創業者木下守が、1975年に兵庫県加古川市の「セブンボール」という名のボーリング場の駐車場で、カー用品の販売を開始。土地をお借りしたボーリング場の「セブンボール」と「ラッキーセブン」にあやかりました。わたしたちの「原点」を標(しる)す数字です。

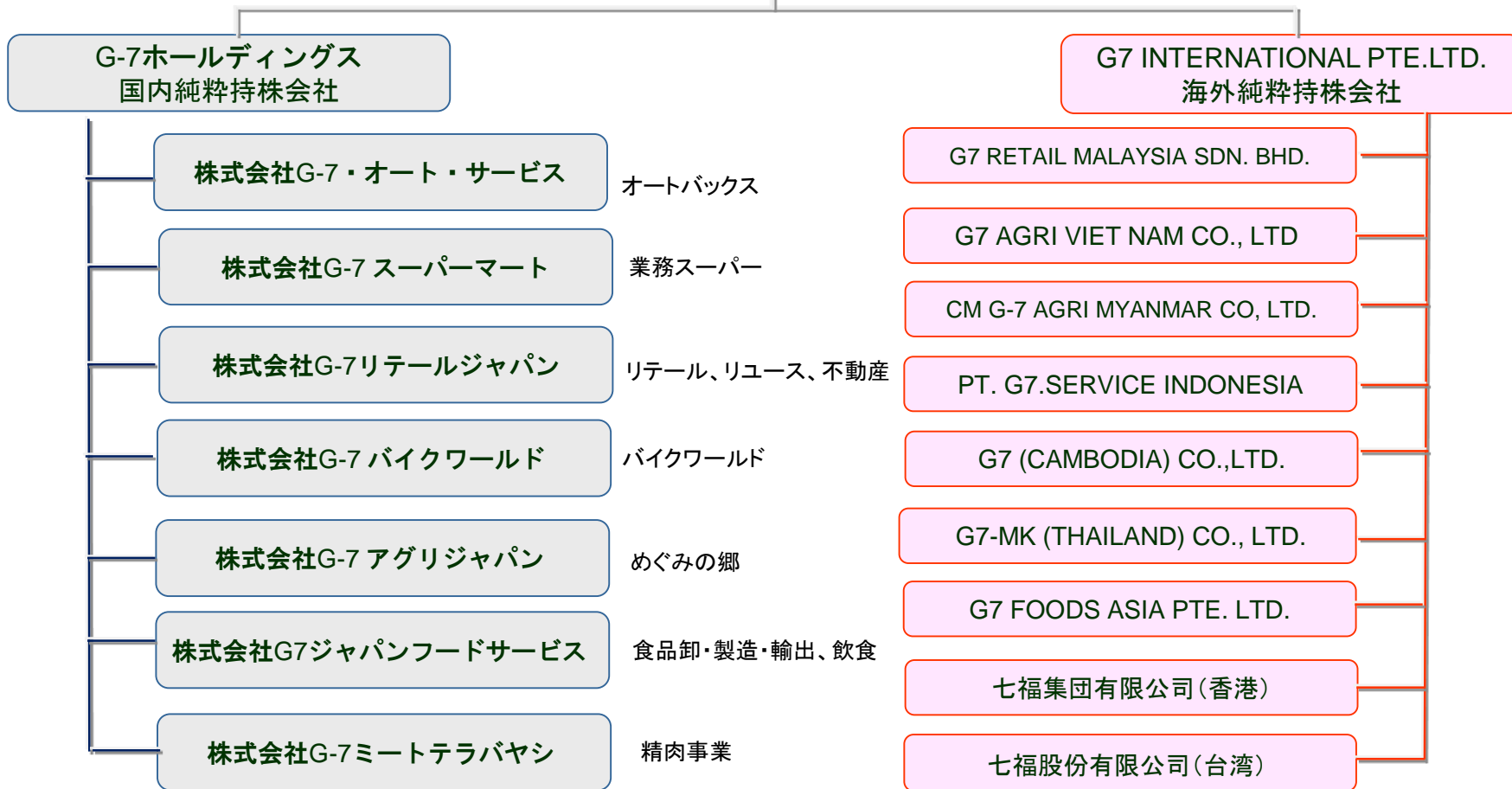
### G (ジー)

「G」という総称は、わたしたちが目標とする「企業集団」をあらわす姿。国内外へ「グローバル」に成長する、「ガッツ」あふれる、活力に満ちる「グループ」を意味します。



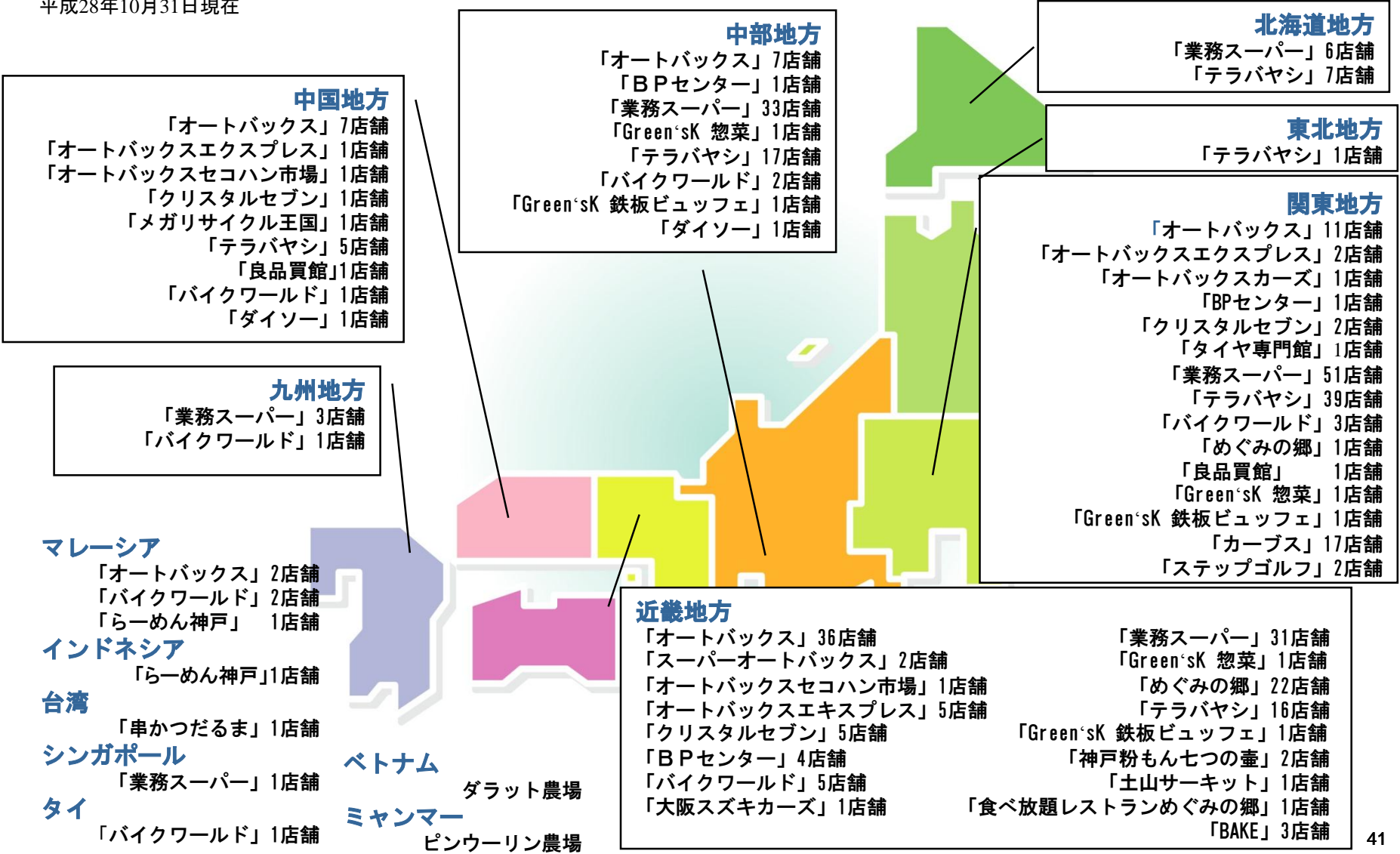
ロゴマークで表現したのは

「芽生え」と「息吹」です。「G」と「7」を組み合わせたデザインは、植物から種子が芽を出した姿。「青」は、日本を囲む海の色。海を飛び越え、グローバルに活躍できる企業を「赤」は、情熱の色。ガッツに満ちる、企業集団を意味しています。





平成28年10月31日現在



(平成28年6月28日掲載 日経MJ小売業売上ランキングより)

小売全体の順位	社名	売上高(百万円)	経常利益(百万円)
111位	G-7ホールディングス(連結)	103,895	3,220

■カー用品			
67位	オートボックスセブン(連結)	208,142	7,780
94位	イエローハット(連結)	125,961	8,406
266位	G-7・オート・サービス	30,978	1,264
335位	アイエー	21,155	345
483位	バッファロー	8,601	144

■食品スーパー			
61位	神戸物産(連結)	228,590	8,477
194位	G-7スーパーマーケット	52,069	1,843
207位	オーシャンシステム(連結)	48,475	1,047

